

令和5年度 教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検・評価報告書

令和6年10月

東栄町教育委員会

はじめに

東栄町教育委員会では、「第6次東栄町総合計画 山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」の「豊かな文化と心を育むまちづくり」を施策の基本目標とし、併せて教育大綱に基づいた着実な事業の推進に努めているところです。これらの政策目標の達成に向けて、毎年度、施策評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を地方教育行政の組織及び運営に関する法律による、「教育に関する事務の管理及び執行の状況」の点検及び評価等の報告書として位置づけて公表します。

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価・・・4～14

基本施策 1 学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

- 1-1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進
- 1-2 知・徳・体が調和した教育の推進
- 1-3 連携教育の推進
- 1-4 食育活動の推進
- 1-5 小中学校の施設・設備の充実
- 1-6 高校への就学支援

基本施策 2 家庭・地域による連携教育・・・・・・・・・・ 8

- 2-1 家庭教育への支援
- 2-2 子どもの居場所づくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ・・・・・・・・・・10

- 3-1 生涯学習の充実
- 3-2 スポーツ活動の充実
- 3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進

基本施策 4 文化の保存と継承・・・・・・・・・・・・・12

- 4-1 伝統文化の継承
- 4-2 文化財の保存・継承環境づくり

基本施策 5 多様な学びの場・・・・・・・・・・・・・・14

- 5-1 人権尊重の推進
- 5-2 国際交流を通じた多様性への理解

主要事業の実施、成果状況・・・・・・・・・・・・・・ 15～47

- 1 教育総務費・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 2 小学校費・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 3 中学校費・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 4 保健体育費・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 5 社会教育費・・・・・・・・・・・・・・ 29

6 総合社会教育文化施設費	36
7 森林体験交流施設費	46
8 主要工事等一覧	47

基本目標 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	【現状】 ・小・中学校の児童・生徒数は、多少の増減はありますが、おおむね横ばいで推移しています。 ・学習指導の充実や教職員の質の向上を図るとともに、学校、保護者、地域等と連携した教育が望まれます。 ・保育園統合によって保育園1園、小学校1校、中学校1校となったことから、それぞれの保育・教育の指針や目標に整合性を持たせて一貫した理念の下で育てる体制が整いました。 【課題】 ・教育施設や設備の更新をしていくための財源確保が大きな課題となっています。 ・町内には高校がなく、町外高校への就学を余儀なくされており、都会と比べ、保護者の経済的負担が大きくなっています。
施策がめざす将来の姿	・一人ひとりの良さや可能性を伸ばす教育がされています。 ・時代を見据えた教育内容、教育方法等により多様な学習活動が実施されています。 ・保育園、小学校、中学校の連携が一層進み、とぎれのない保育・教育が行われています。 ・希望に応じて高等教育が受けられる環境が整っています。
個別施策	1. 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進 小規模校としての特性を生かし、一人ひとりに応じた学習指導を行い、基礎学力の向上を図ります。 支援が必要となる児童や生徒に対して、特別支援教育の支援員を配置するなど、きめ細かな教育を行います。 いじめ問題や不登校等の子どもに適切に対応するため、児童・生徒の心に寄り添う相談体制の維持を図ります。 2. 知・徳・体が調和した教育の推進 基礎学力の向上をはじめ、道德教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、食育、職業体験など、各種教育に力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育を行います。 ふるさと東栄を学び、ふるさと東栄を愛する天地人教育を推進します。 小・中学校へALTを派遣して、英語教育の充実を図るとともに、中学生を海外に派遣してホームステイや交流体験を行うことで、言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚の育成を図ります。 3. 連携教育の推進 小中学校が各1校であるため、教育目標やカリキュラムの共通している部分を協力して行います。また、教育の充実を図るため、保育園と小中学校における教育分野での連携について研究していきます。 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と地域の連携・協働が今まで以上に重要視されていることから、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の設置を目指します。 中高一貫教育を進めている田口高校との連携を密にしていきます。 4. 食育活動の推進 旬の地元農産物を学校給食に使用したり、郷土料理を献立に取り入れたりすることにより、児童生徒が地域の食文化に触れる機会を作ります。

	5. 小中学校の施設・設備の充実 教育環境を整えるため、計画的に修繕、工事、備品購入等を行い、小中学校における施設や設備の充実を図ります。 文部科学省が提唱しているGIGAスクール構想を推進するため、教育ICT環境を整え、その効果的な活用を図ります。令和2年度には、児童生徒に一人1台ずつタブレットが整備されました。今後も必要な財源を確保しながら更新し、他の地域と格差のない教育環境を維持します。 6. 高校への就学支援 高校への就学を支援するため、引き続き町営バスを運営します。特に、設楽町への乗り入れや、JR飯田線東栄駅との結節は通学に必要なことから、通学の利便性が確保できるような時刻設定にします。 あわせて、通学費や授業料の一部を補助します。
--	---

施策評価シート（基本施策1 学校教育）

個別施策	令和5年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
1-1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進	・「保小中連携教育」を具体化するために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の具体化について方策を協議している。 ・小中学校の校内現職研修を中心に、教員の指導力の向上を図った。また、教職員が日常的に児童生徒の情報を共有する場を設定し、実態把握に努めた。 ・児童生徒の状況に応じて教員やスクールカウンセラーによる相談や家庭訪問を行い、不登校やいじめ等の早期対応や防止を図った。 ・小学校ではアプリ「心の天気」を活用し、児童の毎日の実態把握を行った。 ・特別に支援が必要な児童生徒に対しては特に細かく配慮して、共通理解を基盤にした丁寧な指導を行った。 ・小学校に通級学級を設置し、個に応じた学習を支援した。 ・小中学校に支援員を配置し、個の特性に応じて学校生活と学習を支援した。 ・タブレットを活用して個々に適した課題を出したり、考えを表出する場を設定したりした。	・保育士や教職員に「めざす子どもの姿」案を意識してもらうことができた。多くの町民が参画できるような協議会の組織づくりのために、開設を令和6年度に延期した。 ・授業研究を中心とする校内研修を行い、実態把握の力や指導力を高めた。いじめや不登校などの問題の早期発見と解消、個に応じた対応に成果があった。 ・児童生徒と個別に接することで状況を把握し、職員全員で指導の方向性を明確に共有して対応できた。不登校の解決、いじめの早期発見と正確な把握が課題である。 ・一人ひとりの毎朝の心の状況が把握でき、児童理解と個別指導に大きな効果があった。 ・学校生活に適應でき、力を伸ばすことができた。義務教育終了後を見通して方針を立てて指導することが今後必要である。 ・個の実態に応じた指導を行うことで、学習への興味を維持し、理解を進めることができた。 ・特別に支援が必要な児童生徒に個々に対応することで、生徒の活動への集中を持続したり学習の理解を深めたりすることができた。 ・全体的に学習意欲が高まった。発言に消極的な子どもの考えを授業に反映できた。

1-2 知・徳・体が調和した教育の推進	・学校教育目標に示し、小中学校の教育活動全体を通して計画的に取り組んだ。 ・「保小中連携教育」を具体化するために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置について具体的な方策を地域連携教育情報交換会で協議した。 ・総合的な学習の時間を工夫し、中学校では「共生タイム」で町に関わる追究学習に、小学校ではふるさと学習で地域についての学習に取り組んだ。 ・ALTを配置し小中学校の英語教育の質の向上を図った。 ・計画した中学生海外派遣事業がコロナ感染症の影響で実施できず、国内での泊を伴う語学研修とカナダの交流校とのオンライン交流で目的の達成を図った。 ・感染症や熱中症に配慮しながら体育活動に取り組んだ。部活動は働き方改革により休業日を設けて実施した。 ・タブレットを道具として様々な場面で活用した。健康への配慮から、利用法について保護者とともに学ぶ場を設けた。	・計画を具体化し適切に指導した。全人的に子どもをとらえる視点を今後も重視したい。 ・令和6年度からの実施に向けて計画を立てた。目標が町民に広く理解され、より大勢に協力していただける体制をつくる必要がある。 ・地域の多くの団体や個人の協力が得られ、町について知ったり体験したりする活動が多様化し、内容もいっそう充実できた。中学生は明神祭で学習の成果を発表した。 ・話す力・聞く力が意識され、ネイティブの発音に触れてコミュニケーションへの意識が高まっている。 ・代替事業によって目的の一部が達成できた。渡航体験による成果には及ばないが、会話や交流への意欲を高め、技能の向上と達成感を感じさせることができた。 ・感染症対策や熱中症対策による体力への影響は小学校中学校とも認められなかった。中学生は県平均より高かった。体力の個人差が大きい。 ・授業での活用、欠席時のオンラインでの授業参加など、タブレットの活用は児童生徒の学習に効果がある。その一方で、家庭に持ち帰った際に、不適切な使い方をする子どもがおり、指導の必要がある。
1-3 連携教育の推進	・「保小中連携教育」を具体化するために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置について方策を協議している。 ・保育園の年長児が、段階的に小学校を訪問・体験する場を設定した。 ・地域連携教育情報交換会を開催し、小中学校と地域の連携を推進した。 ・北設楽中高一貫教育に取り組み、サマーセミナーへの参加、数学・英語の交流授業、お仕事フェア、文化祭等の交流を行った。	・「めざす子どもの姿」案を意識して保育・学校教育に取り組んでいる。地域の方にも共有していただき、地域の方が教育活動を支援できるようにすること、学校の負担が増えないことに配慮した組織づくりが必要である。 ・小学校での生活の具体的なイメージを描くことができ、園児の意欲の向上につながった。 ・多くの団体に協力していただき、学校と地域との連携が進んだ。小中学校間の相互理解が活動の充実につながった。 ・高校生の学校生活や各種の取り組みを知り、進路選択の参考にできた。

1-4 食育活動の推進	・年3回の「愛知を食べる学校給食の日」をはじめ、給食の歴史をたどるメニューを給食週間に出す、季節を感じる献立を出すなど特色ある給食を工夫して提供した。	・栄養職員と生徒のコミュニケーションも多く、食に対する関心が高まり、残食もない。個に応じた量を考えたい。
1-5 小中学校の施設・設備の充実	・小中学生全員に1台ずつ貸与したタブレットを活用するために、必要なアプリを整備した。 ・小学校の教室棟廊下及び各教室の床を修繕工事した。 ・中学校の自動火災報知設備受信機の関連部品が経年劣化により故障し、取替工事を行った。 ・一般財源により、中学校入学者への夏用ポロシャツを配付した。	・GIGAスクール構想の実現に向けて昨年度導入した「心の天気」は児童理解に成果がある。個に応じた効果的活用、自宅への持ち帰りを進めるため、アプリを補完する等の対応が必要である。 ・経年劣化により、小学校の教室棟廊下及び各教室の床が摩耗したため、安全確保の観点から修繕を行った。定期的なメンテナンスが必要である。 ・自動火災報知設備受信機の取替により、火災に対する備えができた。関連部品の定期的点検を引き続き行う。 ・高温化が進み熱中症が危惧される中、安全かつ快適に学校生活を送る一助となった。
1-6 高校への就学支援	・高校への就学を支援するために、通学費用や授業料の一部補助を継続して行った。バス料金の改定に伴い補助額を増額した。 ・高校生の通学の利便性を高めるよう配慮して、町営バスを運営した。	・通学の交通費や下宿代、授業料等就学に必要な費用の一部を補助することによって、家庭の負担を軽減するとともに、進路選択の幅を広げることができた。町営バスの料金改定に対応できた。 ・ダイヤ変更や乗車方法の変更があったが、通学に不便を来さないバス運営ができた。

基本施策 2 家庭・地域による連携教育

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	【現状】 ・地域の枠を超えて花祭等の地域行事に参加する子もおり、地域の貴重な担い手としての期待が大きくなっています。 ・スポーツや文化活動に関する習い事やサークル活動が多数あり、地域の大人から指導を受ける機会があります。 ・地域連携教育の推進によって、「子どもは町の宝」として社会全体で支え、育てる仕組みづくりに取り組んでいます。 【課題】 ・子ども会の解散や家族観の多様化により、子ども達が直接的に地域との関わりを持てる場が減り、以前に比べると世代間や異年齢の子ども達との交流が減っています。
施策がめざす将来の姿	・家庭と地域が一体となり子どもの健全育成を推進できる体制ができています。
個別施策	1. 家庭教育への支援 働き方や家族のあり方が多様化する中でも、家庭は子どもたちが安心して心健やかに暮らしていける場であることが望まれます。子育ての仕方や、子どもを取り巻く社会は少しずつ変化していきます。また、子どもが成長していく段階によっても、必要な保護者の関わりは変化します。保護者がゆとりをもって子育てができるような情報提供や、必要に応じた相談体制等を整えます。 2. 子どもの居場所づくり 町でも近年、親や祖父母の就労等により一人で遊ぶ子どもが多く見られるようになりました。子どもは遊びを通じて仲間関係の形成や社会性の発達などを育んでいくことから、子どもが自主的に遊べ、安全に過ごす場所の確保が必要です。仲間と楽しく、安全に遊べる放課後児童クラブの活動を推進していきます。 小学校の放課後や長期休暇等において、児童が安心して過ごせるようボランティアによる体験指導を行うなど、放課後児童クラブの内容の充実を図ります。 あわせて、子どもと高齢者が、家族の垣根を越えてふれあい、また、子どもが高齢者から学ぶ機会を創出することで、地域一体となった子育てと郷土を愛する意識の醸成を図ります。

施策評価シート（基本施策２ 家庭・地域による連携教育）

個別施策	令和５年度の実施（達成）状況	得られた効果と今後の課題
２－１ 家庭教育への支援	・「保小中連携教育」を具体化するために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の具体化について方策を協議している。 ・小中学校とも家庭との連絡を日常的に行い、必要な情報を交換した。 ・保護者会、学校保健委員会等の場で、発達段階や実情に応じた家庭教育の方向性を示した。また、必要に応じて個別に懇談し、考えを共有した。 ・スクールカウンセラーを継続配置し、保護者の相談に対応できるようにした。	・家庭での指導の指針になる具体的な目標を学校・園・保護者・地域が共有することをめざし、学校運営協議会の令和６年度設置に向けた計画ができた。 ・メール、学校ブログ、とうえいチャンネルの活用など、方法を工夫して情報提供ができた。 ・現状の課題について情報発信ができた。また、個々の課題に対して共に考え、解決の方法を支援できた。どの保護者とも信頼関係をいっそう深めたい。 ・専門家を配置し必要に応じて相談を受けることができた。より活用しやすくしたい。
２－２ 子どもの居場所づくり	・地域見守り隊活動を依頼し、登下校の安全を図った。 ・診療所の開設に対応し、新橋前三差路の交通安全の促進を図った。 ・小中学校とともに総合的な学習の時間を中心に、地域を理解し地域を愛する心を育む学習を計画的に実施した。 ・地域連携教育情報交換会を実施し、小中学校と多くの機関、団体の連携を図った。 ・生涯学習講座にワークショップの場を設けた。	・安全を保障するとともに、地域の方と触れ合う機会となった。 ・通学路交通安全対策連絡会を中心に安全に登下校できるように各機関に働きかけ、警察の巡視、注意喚起の看板設置などによって、小学生が安全に登下校できた。 ・町に関する学習活動の機会が増え、より多くの人と交流できた。地域の一員としての自覚をいっそう高めたい。 ・学校と地域の各々の需要が確認でき、連携した活動が定着してきた。結果として子どもの体験機会が増えた。 ・関心のある活動を経験することができ、多様な活動に触れる場が増えた。

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	【現状】 ・ 体育協会に加盟しているスポーツ団体の登録者数は減少傾向にありますが、スポーツ活動は各団体ともに活発に行われています。 【課題】 ・ 生涯学習では、生涯を通じて学び成長する機会に対するニーズは多様化していますが、講師の確保が困難であるため、住民ニーズに対して十分な講座の開講ができていません。 ・ 総合社会教育文化施設では、利用者数の減少と共に収益も減少しています。ハード面では、各施設の老朽化が目立っており、花祭会館の耐震性も課題となっています。
施策がめざす将来の姿	・ 町民が生涯を通して自主的に学習できる機会が充実しています。 ・ 町民がスポーツを通じて、体力や健康の維持に取り組んでいます。
個別施策	1. 生涯学習の充実 多様な学習ニーズに対応するため、民間の人材やノウハウの活用を図るとともに、地元の学校や東三河管内の生涯学習実施機関との連携などにより、各種講座の充実を図ります。 中学生を対象とした公営塾を放課後や休日に開設し、学力の底上げを行います。 2. スポーツ活動の充実 子どもから高齢者まで誰もが楽しむことができ、積極的に取り組むことができるスポーツ活動の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。 あわせて、小中学校における体育指導会及び部活動のあり方が変化する中、今後は地域におけるスポーツ活動の重要度がさらに増すことが見込まれます。コミュニティ・スクールとも連携し、団体における人材確保に取り組みます。 3. 総合社会教育文化施設の充実と利用促進 生涯学習や生涯スポーツに引き続き取り組めるよう、社会教育施設、社会体育施設のうち、改修・修繕等が必要な施設については、改修計画を策定し、緊急度に応じて改修・修繕等を行います。 東栄グリーンハウスや森林体験交流センター等については、町内外の人が利用している施設です。引き続き多くの人に活用してもらえるよう、利用促進を図ります。

施策評価シート（基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ）

個別施策	令和5度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
3-1 生涯学習の充実	・社会教育・体育施設などを活用して17の講座を開設し、延べ77回を運営した。1回終了の講座を7講座実施した。 ・令和6年3月現在、生涯学習講座の講師として延べ45名のボランティア指導者が活躍している。	・参加者の関心に講師が積極的に対応いただき、充実した生涯学習講座が実施できた。1回終了の講座にも関心ある受講生が多かった。 ・指導者の高齢化への対応と新たな人材発掘が引き続き必要である。
3-2 スポーツ活動の充実	・B&G事業として、水辺の安全教室、カヌー教室、ごみ清掃、リーダー研修、キッズ・マリンフェスティバル(生涯学習)を行った。 ・希望に応じて、できるだけ多様な生涯スポーツ講座を開設した。 ・名古屋グランパスサッカー教室、ドラゴンズ選手による野球教室、三遠ネオフェニックス選手によるバスケット教室を開催した。	・B&G事業として活動を継続的に推進し、水辺に親しみ安全に対する意識向上や地域指導者会と連携協力し組織の充実を図ることができた。 ・各種スポーツ愛好者に活動の場を提供できた。高齢化や参加者減への対応が課題である。 ・今後も子どもたちの技能や意欲を高めることができた。今後も多様な種目を経験できるような工夫をしたい。
3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進	・B&G体育館、プールは例年並みに利用できた。 ・総合文化施設の管理運営については、シルバー人材センターを指定管理者として適正に管理を行った。	・利用者は増加したが、一定利用客のため、今後プールの利用方法等などの対応が課題である。 ・計画的な運営と施設整備を行った。施設の老朽化もあり、引き続き施設の充実を図っていきたい。

基本施策 4 文化の保存と継承

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	【現状】 ・町の文化を保存・継承していくため、民具や古文書などの有形文化財の保管や保全によって散逸防止を図っています。 ・花祭の保存伝承のため、花祭会館の展示内容や展示方法の見直しを行うとともに、映像等をデジタル化しています。 【課題】 ・人口の減少により、地域活動の担い手が減る中、花祭やシカウチ行事といった民俗芸能の保存・伝承を担う後継者が不足しています。
施策がめざす将来の姿	・花祭やシカウチ行事などの伝統文化が伝承されています。 ・文化財等を通じ、町民が町の歴史を知り、故郷の価値を実感できています。
個別施策	1. 伝統文化の継承 各地域に伝わるお祭りや伝統芸能は、地域の保存会等によって継承されています。人口減少により地域での担い手確保が困難となる中、地域が望む形で継承できるようにしていく必要があります。そのため、伝統文化の継承につながるよう、各保存団体が抱える課題の共有や解決のための工夫などについて、お互いに意見交換ができる環境を整えます。 2. 文化財の保存・継承環境づくり 町民に地域の歴史や文化に対する認識を促し、愛護意識を高めるため、町内に存在する文化財のPRを強化するとともに、文化財を活用した学習講座の開催など、貴重な文化遺産の周知に努めます。また、文化財を保存・展示する環境整備を図ります。

施策評価シート（基本施策4 文化の保存と継承）

個別施策	令和5年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
4-1 伝統文化の継承	・将来への継承のための方策等を共有するため、花祭保存会長情報交換会を開催した。 ・県の補助金を有効活用し無形民俗文化財に対する補助事業を実施し、小林花祭保存会は湯蓋・湯蓋等昇降機の新調、河内花祭保存会は鬼と青年の舞の衣装を新調した。	・花祭の実施内容、子供たちの舞習い方法等について各保存会長よりそれぞれの意見を出してもらうことで情報共有ができた。 ・2花祭保存会でそれぞれ新調したことで、花祭の保存や継承を図ることができた。
4-2 文化財の保存・継承環境づくり	・国県指定の無形民俗文化財と、県町指定無形民俗文化財の保存団体に補助金を交付した。 ・県指定文化財「三ツ井のさいの神」の修復、西菌目地区にある「庚申塔」の移設を行った。 ・愛知県の戦争遺跡に関する調査を行った。	・花祭開催と保存のために必要な経費や道具等の整備に使われている。10地区が様々な工夫をし、次代の子どもたちへの継承が途切れないように開催することができた。 ・「三ツ井のさいの神」の修復については、3分割された文化財を本来の形である1本の形状に修復できた。西菌目地区にある「庚申塔」の移転は豪雨の影響で土手から転がり落ちたため、緊急的に近くへ移設した。 ・戦争遺跡の現状調査と新規戦争遺跡の情報収集を行い、消滅危機などの恐れがあるため今後適切な管理が課題である。

基本施策 5 多様な学びの場

第6次総合計画（後期計画 令和3～7年度）	
現状と課題	【現状】 - 性別や年齢、国籍に関係なく誰もが互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会が求められます。 - 次世代を担う子どもたちの国際理解を深めるため、中学生の海外派遣を行っています。 【課題】 - 本町で暮らす外国人は、今後は増加することが予想されるとともに、本町を訪れる外国人が増加することも期待され、より外国の方が暮らしやすく、また訪れやすい環境づくりが望まれます。さらに、引き続き、中学生の海外派遣を行い、これらを通じて国際交流や国際理解を推進する多文化共生の社会づくりを目指していく必要があります。
施策がめざす将来の姿	- 差別や偏見がなく、誰もが暮らしやすい地域社会が形成されています。 - 国際交流などを通じ、暮らしの多様性への理解が深まっています。
個別施策	1. 人権尊重の推進 人権に関する広報活動や人権学習等を通じて差別等の無い地域社会づくりに向け、人権擁護委員による相談等を実施します。 2. 国際交流を通じた多様性への理解 町民の国際理解を深めるため、国際理解教育の充実や異文化の体験、外国人とふれあう機会などによって、国際感覚を身につけた人材を育成します。 あわせて、文化や暮らしの多様性についての理解を深めます。

施策評価シート（基本施策5 多様な学びの場）

個別施策	令和5年度の実施（達成）状況	得られた効果と今後の課題
5-1 人権尊重の推進	小中学校とも人権学習を実施した。日常的に児童生徒観察と教職員間の情報共有を行い、いじめを見つけて対応するとともに、人権週間の重点的指導など各種の学習を年間指導計画に位置付けて、人権意識の高揚に努めた。	いじめにつながる児童生徒の行動の早期発見と指導ができており、他者への思いやり、差別を許さない意識、命を大切にする心を育てることができた。それぞれの子どもたちの状況を把握し、組織的に個に応じた対応ができた。
5-2 国際交流を通じた多様性への理解	- 中学生海外派遣事業を計画したが、コロナ感染症の影響により中止した。 - 代替措置として、外国人留学生との2泊3日の国内語学研修を実施した。また、カナダの交流校であるRCA校とのオンライン交流を3日間行った。	- 海外での生活の実体験から学ぶことは大きく、その場面を提供できなかった影響は大きい。 - ホテルやバスの車中を英語で過ごすことで疑似的な体験ができ、生徒も有意義な体験として受け止めている。オンライン交流も生徒の英語や文化に対する意識を高める効果があった。

主要事業の実施、成果状況

単位：千円

教育委員会事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：128

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,012	2,952				2,952
1 項 教育総務費						
1 目 教育委員会費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 全般

[概要]

教育委員会は、地方教育行政を安定的・継続的に運営していく機関として重要な役割を担っている。これらの役割を果たすため、各種会議や審議を通し議論を深め、その執行を行った。

[実績・成果]

○教育委員会の活動等

- ・ 総合教育会議 (10月3日・2月6日)
 - ・ 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
 - ・ 令和5年度主要事業の進捗状況について
 - ・ 学校運営協議会等の設置について
 - ・ 教員業務支援員等の配置について
 - ・ 令和6年度の教育方針について
- ・ 定例教育委員会 12回(毎月)
 - ・ 令和5年度就学奨励費支給対象児童生徒の認定
 - ・ 令和5年度準要保護児童生徒の認定
 - ・ ラーケーションの対応について
 - ・ 令和6年度教育方針について
- ・ 定例校長・園長会 11回(8月を除き毎月)
 - ・ 感染症への対応 ・ 会議の報告
 - ・ 保育園、小学校、中学校、教育委員会の情報共有
- ・ 学校訪問 令和5年6月8日 AM小学校 PM中学校
 - ・ 公開授業、諸帳簿閲覧 等

教育大綱をはじめとする教育行政全般にわたる諸案件を、総合教育会議、教育委員会会議などにおいて協議し、適切に執行した。

単位：千円

高校への就学支援事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：130

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,689	4,424				4,424
1 項 教育総務費						
2 目 事務局費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

高校への通学費や私立高等学校授業料の一部を補助することにより、高校への就学を支援した。

[実績・成果]

○高校生通学費等補助事業

根拠：東栄町高等学校通学費等補助金交付要綱

目的：東栄町から高等学校に通学する生徒の保護者に対して通学費等の補助を行うことにより、都市部との負担の格差是正を図る。

補助額：学校の所在地により57千円～90千円

令和5年度補助額：54名 4,352,000円

○私立高等学校授業料助成金

根拠：東栄町私立高等学校授業料補助金交付要綱

目的：私立高校に在籍する生徒の保護者に対して授業料の補助を行うことにより、公立学校との父母負担の格差是正を図り、教育の機会均等を確保する。

補助額：1学年度 12千円

令和5年度補助額：6名 72,000円

単位：千円

外国語指導助手（ALT）配置事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：130

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,505	4,505				4,505
1 項 教育総務費						
2 目 事務局費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育 ・ 5 多様な学びの場

[概要]

小学校・中学校へ外国語指導助手（ALT）を派遣し、教員を補助しながら英語教育の充実を図る。中学3年生については、カナダへの海外派遣事業前には重点的にALTからの指導を受け、充実した海外研修に繋げる。

[実績・成果]

○外国語指導助手（ALT）の配置事業

業務内容

- (1) 国際理解教育、英語教育に関するコンサルティング
- (2) 国際理解教育、英語教育に係るレッスンの企画及び提案
- (3) 外国語指導助手による英語指導業務
- (4) その他

学校への派遣状況

- ・東栄中学校に常駐し、英語授業の補助を行った。
- ・週2日東栄小学校へ派遣し、3年生以上の児童に対し外国語授業の補助を行った。

外国語指導助手（ALT）1名を東栄中学校に配置し、中学校・小学校の授業で教員を補助。正しい英語の発音と、生きた文法表現を用いた英語教育を実施。聞く力や表現する力等、総合的に英語能力を高めた。

単位：千円

学校基本調査事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：130

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	6	4	4			
1 項 教育総務費						
3 目 学校基本調査費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

文部科学省が毎年度行う調査。5月1日時点の学校数、学級数、在学者数、教職員数、卒業後の状況、施設、経費等の基本事項が調査対象となっている。

[実績・成果]

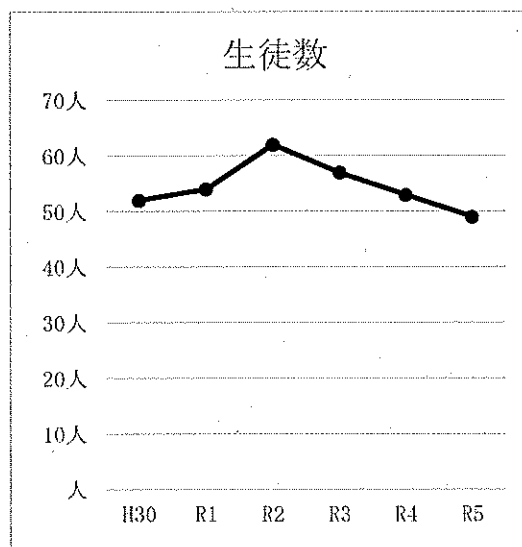
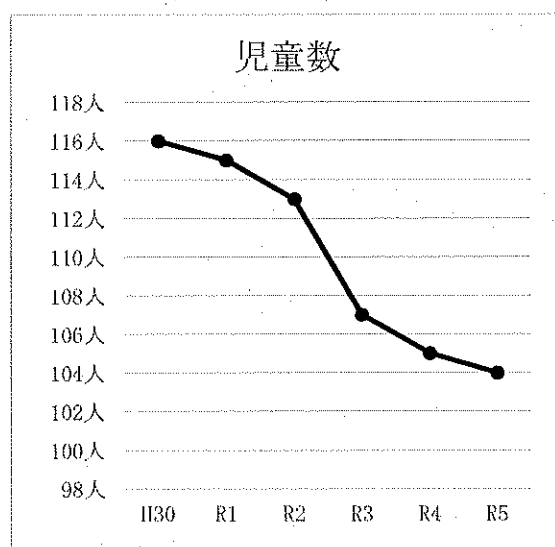
統計法に基づき、令和4年5月1日現在の学校基本調査を実施した。

○小学校の児童数の推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童数	116人	115人	113人	107人	105人	104人

○中学校の生徒数の推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生徒数	52人	54人	62人	57人	53人	49人



単位：千円

小学校管理事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：130～132

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,457	2,294				2,294
2 項 小学校費						
1 目 学校管理費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

東栄小学校の学校経営に必要な維持管理を行うとともに、校外学習等への補助を行った。

[実績・成果]

○東栄小学校 教育目標

「いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小」

ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子 の育成に向けた教育を行った。

○東栄小学校の状況

学級 区分	学級数	児童数（年度末時点）（単位：人）						
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
単式学級	6	21	12	11	19	14	23	100
特別支援	2	1			1	1	2	5
合計	8	22	12	11	20	15	25	105

○小学校に対する補助金

名称	補助金額	内容
臨海学習 補助金	427,000円	5年生を対象とした事業であるが、R4年度に新型コロナウイルス感染症のため事業ができなかったため、5・6年生合同で実施した。

○ICT教育の推進

令和2年度に、公立学校情報機器整備費補助金を活用して導入した一人一台タブレット端末について、授業や保護者会など、学校生活の中で積極的に活用した。それにより、感染症による出席停止の際には、自宅から授業に参加することができた。また、日頃の児童本人がその日の心の様子をを入力するアプリ「心の天気」、授業の振り返りを行うアプリ「学びの天気」を活用し、児童一人ひとりの状況把握や具体的な対応につなげることができた。

単位：千円

小学校教育振興事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：134

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	6,212	4,724	46			4,678
2 項 小学校費						
2 目 教育振興費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

〔概要〕

児童が学習しやすい学校環境をつくり、教育活動の推進を図った。

〔実績・成果〕

○特別支援教育支援員の配置 報償費等：4,421,541円

概要： 特別支援学級・通常教室に在籍し特別な支援を要する児童に対し、教員の補助員となる特別支援教育支援員を配置して、生活面・学習面を支援した。

支援員：3人／日（登録者8人）

○リーディングスキルテスト 手数料：41,745円

概要： 文章に書かれている意味を正確にとらえ、新しい知識を身に付けるために必要な「読む力」を科学的に測定・診断し、個別指導の一助とした。

受講者：小学6年生 20名

○小学校に対する委託事業（県からの委託）

名称	補助金額	内容
魅力ある愛知 キャリアプロジェクト	70,000円	6年生を対象に観光まちづくり協会事業「ぼたび」でまち巡りやせっけんづくり体験を行った。

○小学校に対する補助事業

名称	補助金額	内容
農業体験学習事業	21,000円	農園の作業を通じて草花・野菜等の栽培方法を知り、働くことの大切さと喜びを感じ取らせる。

○就学のための支援

名称	支給者数	金額
特別支援教育就学奨励費	3名	59,190円
準要保護児童扶助費	4名	110,827円

単位：千円

小学校施設整備事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：134

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,730	2,718			97	2,084
2 項 小学校費						
3 目 学校施設整備費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

教育・学習環境を確保するため、必要な物品及び施設設備の維持管理を行った。

[実績・成果]

○施設修繕事業

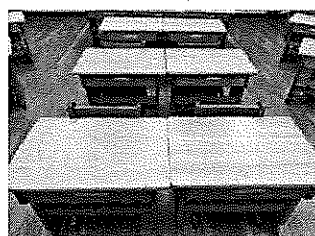
品 名	金額
東栄町学校職員室LED化事業	586,300円

○工事

品 名	金額
東栄小学校床修繕	2,035,000円

○備品の整備状況 (森林環境譲与税充当事業)

品 名	数量	金額	納入日
ヒノキ製 木製天板	11枚	96,800円	令和6年3月15日



<天板をセットした机>

単位：千円

中学校管理事業（中学生海外派遣事業を除く）

担当課係：教育課教育総務係

決算書：134～136

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,514	4,190				4,190
3 項 中学校費						
1 目 学校管理費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

東栄中学校の学校経営に必要な維持管理を行った。

[実績・成果]

○東栄中学校 教育目標

「自ら学び 心豊かに たくましく」

「天地人教育」の理念を基盤とし、知・徳・体の調和と統一のとれた豊かな人間性の啓培に努め、たくましく生きる実践力を持った国家・社会の有為な形成者としての資質の教育を期した。

○東栄中学校の状況

学級区分	学級数	生徒数（年度末時点）（単位：人）			
		1 年	2 年	3 年	計
単式学級	3	21	13	14	48
特別支援	1			1	1
合計	4	21	13	15	49

○ICT教育の推進

令和2年度に、公立学校情報機器整備費補助金を活用して導入した一人一台タブレット端末について、授業や生徒会活動など、学校生活の中でアンケートによる意見集約等積極的に活用した。それにより、感染症による出席停止の際には、自宅から授業に参加することができた。語学研修等の成果報告会においても、資料作りや報告会に端末を活用することで、分かりやすく具体的に伝えることができた。

単位：千円

中学生海外派遣事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：134

一般会計	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,450	3,341	196		450	2,695
3 項 中学校費						
1 目 学校管理費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育 ・ 5 多様な学びの場

【概要】

中学3年生を海外（カナダ）に派遣し、学校交流やホームステイ等を通じて言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚を身につける「中学生海外派遣事業」を実施している。

【実績・成果】

令和2・3・4年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響によって海外派遣を中止し、国内において留学生との交流プログラム及び以前から交流しているRCA校とのオンラインで交流を行った。

○留学生との交流プログラムの実施（語学研修）

実施日：令和5年5月24日（水）～令和5年5月26日（金）

研修内容：留学生との街歩きや振り返り（チームディスカッションと全体発表）、相互のふるさと（国、町、学校）紹介等

研修先：関西方面（京都府）

○RCA校とのオンライン交流の実施

実施日：令和5年11月28日～11月30日

研修内容：中学生海外派遣事業の交流校であるリージェント・クリスチャン・アカデミー校（RCA校）とのオンライン交流

○報告会の開催

実施日：令和5年11月3日（金）

【成果】

留学生との交流プログラムでは、国内の景勝地を巡りながら英語でのコミュニケーションを行った。また、交流の中で相互の文化の違いなどを実感し、改めて東栄町について自発的に考えたことを成果報告書まとめることができた。3日間にわたるオンライン交流では、日を重ねるごとに英語で話すことの楽しさを実感し、学習意欲の向上につながった。

単位：千円

中学校教育振興事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：136

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	548	511	187			324
3 項 中学校費						
2 目 教育振興費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 1 学校教育

[概要]

生徒が学習しやすい学校環境をつくり、教育活動の推進を図った。

[実績・成果]

○リーディングスキルテスト 手数料：34,485円

概要：文章に書かれている意味を正確にとらえ、新しい知識を身に付けるために必要な「読む力」を科学的に測定・診断し、個別指導の一助とした。

受講者：中学1年生 19名

○中学校に対する委託事業（県からの受託事業）

名称	委託金額	内容
魅力ある あいちキャリアプロジェクト	35,000円	地域調べ学習や職場体験活動

○とうえい地域未来塾 委託料：96,800円

参加者：中学1年生 10名

実施教科：国語・社会・数学・理科・英語

実施回数：基礎学力定着クラスと向上クラスの2クラスに分かれ主に対面形式により合計44回実施

○就学のための各種支援

名称	支給者数	金額
特別支援教育就学奨励費	1名	32,662円
準要保護生徒扶助費	2名	128,546円
自転車購入補助金	3名	45,000円

単位：千円

中学校施設整備事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：136～138

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	4,941	4,793			167	4,626
3 項 中学校費						
3 目 学校施設整備費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

教育・学習環境を確保するため、必要な物品及び施設設備の維持管理を行った。

[実績・成果]

○施設修繕事業

事業内容	金額	納入日
理科室等LED取替	550,000円	令和5年8月31日
小荷物専用昇降制御盤部品 取替修繕工事	1,826,000円	令和6年3月31日

○工事

品 名	数量	金額	納入日
自動火災報知設備受信機 取替工事	1式	1,892,000円	令和5年9月30日

○備品の整備状況

(森林環境譲与税充当事業)

品 名	数量	金額	納入日
ヒノキ製 机天板入替え	19枚	167,000円	令和5年7月12日

(自己財源事業)

品 名	数量	金額	納入日
ヒノキ製 机天板入替え 新入生分 他	27枚	357,720円	令和6年3月31日

単位：千円

小中学校保健体育事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：138

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,618	1,535	42			1,493
4 項 保健体育費						
1 目 保健体育費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

[概要]

学校保健安全法に基づく児童生徒健康診断や教職員健康診断を実施するとともに、小・中学校の保健体育関係の行事に対する補助等を行い、円滑な学校行事推進を図っている。

[実績・成果]

○健康診断

- 小中学校児童生徒の健康診断 332,332円
 - 内科検診、尿検査、心電図、貧血・脂質検査、プール前健診、修学旅行前健診、マラソン前健診、就学前健診（東栄診療所）
 - 耳鼻科検診（郡学校保健会）
 - 歯科検診（よつば歯科クリニック）
- 教職員の健康診断 482,713円
 - 定期健康診断（しらゆりクリニック）
 - 胃検診（東栄診療所）
 - ストレスチェック（聖隷健康診断センター）

○中学校に対する補助

名称	補助金額	内容
体育活動費補助金	699,818円	部活動の派遣費、運営費の補助
環境整備事業補助金	20,000円	校内、花壇等の環境整備への補助

全児童生徒、全教職員の健康診断を行い、健康上の問題があった者はいなかった。

また、小中学校へ各種補助を行い、円滑に学校行事を進めることができた。

単位：千円

学校給食事業

担当課係：教育課教育総務係

決算書：138

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	34,937	33,472	1,293		4,913	27,266
4 項 保健体育費						
2 目 学校給食共同調理場費						

総合計画 基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり
基本施策 1 学校教育

[概要]

【地方創生臨時交付金事業】

学校給食法に基づき、児童生徒へ安全安心な給食を提供している。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている住民生活の支援策の一つとして、子育て世代への負担軽減を目的に、小中学校の給食費を減免した。

[実績・成果]

○給食実施日数

年度	小学校	中学校
令和3年度	191日	184日
令和4年度	188日	186日
令和5年度	194日	191日

○給食費

	給食費（1食あたり）	補助額	保護者負担額
小学生	270円	140円	130円
中学生	300円	150円	150円

※令和6年1月からは保護者負担0円（地方創生交付金充当）

年度	給食調理にかかる費用	給食費（検食・教職員分を含む）		
		合計	徴収額	補助額
令和3年度	10,856,856円	10,615,530円	6,261,280円	4,354,250円
令和4年度	10,961,831円	10,033,710円	3,619,830円	6,413,880円
令和5年度	11,456,977円	9,754,620円	4,893,100円	4,861,520円

○食物アレルギーの対応

学校における食物アレルギーの事故を防止するため、対象児童生徒の保護者と、調理場長、栄養教諭、給食主任、養護教諭、教育課担当者による「学校給食対応打ち合わせ会」を毎月開催し、原因食物の除去対応等について確認した。

単位：千円

社会教育事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：140

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	800	635				635
5 項 社会教育費						
1 目 社会教育総務費						

総合計画

基本方針

基本施策

[概要]

社会教育活動の推進や文化の交流促進など幅広い世代が参加する事業を展開し、社会教育活動の充実を図る。

[実績・成果]

○社会教育審議会(第1回)

開催日 令和5年7月18日(火)

- 協議事項
- ・令和5年度主要事業について
 - ・二十歳を祝う会について
 - ・令和6年度文化講演会について
 - ・コミュニティースクールについて

○社会教育審議会(第2回)

開催日 令和6年3月14日(木)

- 協議事項
- ・令和5年度社会教育事業報告について
 - ・令和6年度主要事業について

○令和6年東栄町二十歳を祝う会

開催日 令和6年1月7日(日)

会場 東栄中学校 体育館

参加者 招待者14名(16名中)、家族21名、来賓37名

アトラクション 志多ら 演奏

○東栄町図書室(のき山文庫)

- ・令和5年度蔵書数 3,726冊
- ・新刊図書 49冊、寄贈図書 28冊、子育て支援センター蔵書 22冊
- ・相互貸借図書(他の図書館蔵書の図書を借りられる) 12冊
- ・流通図書(愛知県図書館から定期的に図書を借りられる) 240冊
- ・基本図書(愛知県図書館から定期的に図書を借りられる) 47冊

○団体への補助

団体名	補助額	内 容
東栄町文化協会	220,000円	文化祭への協力、各団体補助

単位：千円

文化財保存・伝承事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：140

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,046	891				891
5 項 社会教育費						
2 目 文化財費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

[概要]

文化財の関連事業報告、各花祭保存会との情報交換を行う。また、伝統文化の保存・伝承のため対象団体へ補助金を交付している。

[実績・成果]

○文化財審議会(第1回)

開催日 令和5年6月30日(金)

- 審議事項
- ・元気な愛知の市町村づくり補助金について
 - ・カモシカ減失、現状変更について
 - ・月地区三ツ井のさいの神について
 - ・研修会 テーマ「奥三河のジオ資源」

講師 愛知県文化財保護指導員 加藤 博俊 氏

○文化財審議会(第2回)

開催日 令和6年3月13日(水)

- 審議事項
- ・令和5年度文化財関連事業報告について
 - ・文化財審議会委員の任期について

○愛知県指定有形民俗文化財「三ツ井のさいの神」修繕

○2023年度 元気な愛知の市町村づくり補助金事業

小林花祭保存会 花祭舞庭等修繕(花祭湯釜 1基、湯蓋等昇降機 2基)

河内花祭保存会 無形民俗文化財保存伝承者育成
(鬼の衣装 2組、青年の舞衣装 4組)

○花祭保存会長情報交換会

開催日 令和5年8月3日(木)

- 協議事項
- ・近隣自治体の実施状況等について
 - ・東栄フェスティバルの状況について
 - ・情報交換について
 - 令和4年度実施結果及び令和5年度実施状況について
 - 観客への接待、感染症の対策などについて
 - 鬼の面や衣装の保管について

[実績・成果]

○団体への補助

事業名	対象団体	補助額	備 考
文 化 財 保存事業	各地区花祭保存会	500,000円	50,000円×10花祭保存会
	シカウチ神事保存会 (布川, 月, 小林, 古戸) 下田巫女神楽 下田盆踊り 上栗代の念仏踊り 古戸の念仏踊り 足込の念仏踊り 月の念仏踊り	100,000円	10,000円×10団体

単位：千円

社会体育事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：140～142

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	2,978	2,559			222	2,337
5 項 社会教育費						
3 目 社会体育費						

総合計画
基本方針
基本施策

[概要]

各種スポーツを通じ、スポーツに参加する機会の創出、町民の健康増進、連帯感の養成、青少年の健全育成を目的とした事業を行う。

[実績・成果]

○第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

開催日 令和5年12月2日（土）
会場 愛・地球博記念公園（長久手市）
選手 18名

○名古屋グランパスエイト東栄サッカー教室

開催日 令和5年9月10日（日）
会場 総合グラウンド
参加者 東栄FC 37名

○三遠ネオフェニックス奥三河DAY

開催日 令和5年4月30日（日）
会場 豊橋市総合体育館

○三遠ネオフェニックスバスケットボール教室

開催日 令和5年7月23日（日）
会場 東栄町立東栄小学校
対象 小学1年生～小学6年生
参加者 12名
講師 三遠ネオフェニックス 太田 敦也 選手、兪 龍海 選手
SAN-ENアンバサダー 鹿毛 誠一郎 氏、岡田 慎吾 氏

○北設スポーツ教室・中日ドラゴンズ野球教室

開催日 令和5年12月17日（日）
会場 東栄中学校
参加者 設楽町少年野球チーム 30名
東栄町少年野球チーム 25名
設楽中学校 10名
東栄中学校 14名 合計79名
講師 中日ドラゴンズ 福永 裕基 選手、森 博人 選手、球団職員

[実績・成果]

○北設楽郡スポーツ推進委員連絡協議会 総会・研修会

開催日 令和5年6月24日(土)

会場 設楽町 名倉体育館

競技 タスポニー

○団体への補助

事業名	対象団体	補助額	備 考
社会体育 振興事業	少年少女スポーツクラブ	36,000円	空手クラブ
	東栄町体育協会	520,000円	体育振興助成金等

単位：千円

文化祭・生涯学習講座

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：142

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,296	1,204			7	1,197
5 項 社会教育費						
4 目 生涯学習推進事業費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

生涯学習講座を開催し、様々な年齢層に対して多様な学習の機会を確保する。また、文化祭関連行事を通じ、幅広い世代間で文化活動の交流を推進している。

[実績・成果]

文化祭の開催

○町民作品展示会

期間 令和5年10月28日（土）から11月5日（日）

会場 東栄町B&G体育館 他

参加団体 31団体、個人多数

来場者 1,057人以上（来場者シールより）

○東栄中学校合唱

日時 令和5年10月28日（土）午後1時30分～

会場 花祭会館

○文化講演会

日時 令和5年10月28日（土）午後2時30分～

会場 花祭会館

講師 シンガー 木山 裕策 氏

「ガンが教えてくれたこと ～自分に向き合って見つけた夢～」

○町民芸能まつり

日時 令和5年10月29日（日）午後1時～

会場 花祭会館

参加団体 13団体

[実績・成果]

文化祭関連イベントの開催

○三遠ネオフェニックス シュートチャレンジ

日時 令和5年11月3日（金・祝）午前10時～

会場 東栄ドーム

○モルック体験

日時 令和5年11月3日（金・祝）午前10時～

会場 東栄ドーム

○おひさまの会 読み聞かせ

日時 令和5年11月4日（土）午前10時～、午前11時～

会場 B&G体育館 事務室

○子ども将棋大会

日時 令和5年11月5日（日）午前9時～

会場 弓道場

○生涯学習講座の実施状況

講座名	小学生	中学生	一般	開催日	延べ 参加人数	講座回数
東栄町ソフトテニス教室	○			5/9 ～ 5/16	36人	3回
和楽器に親しむ会	○	○	○	5/9 ～ 10/29	44人	6回
茶道に親しむ会	○	○	○	5/13 ～ 11/18	61人	5回
基本の生け花教室	○	○	○	5/20 ～ 11/2	36人	7回
子どもたちのフラワーアレンジメント 教室	○	○		5/13 ～ 11/25	40人	3回
大人たちのフラワーアレンジメント 教室			○	5/13 ～ 6/17	15人	2回
東栄ブラスバンド	○	○	○	5/8 ～ 10/29	220人	19回
さわやかコーラス			○	5/26 ～ 10/29	105人	12回
理科実験と手品の不思議研究講座	○	○	○	6/18 ～ 2/18	26人	4回
カヌー教室	○			7/17	23人	1回
将棋教室	○	○		7/27 ～ 8/10	54人	3回
ニュースポーツ教室	○	○	○	9/29 ～ 10/20	56人	4回
スプレーアート教室	○	○	○	10/7	28人	1回

単位：千円

総合社会教育文化施設運営事業

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：142～144

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	22,000	21,330			398	20,932
6 項 総合社会教育文化施設費						
1 目 総務管理費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

総合社会教育文化施設（東栄グリーンハウス・花祭会館・博物館・民芸館・体育施設）の管理運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託する。

[実績・成果]

コロナ禍が落ち着き、グリーンハウスを始め他施設の利用客も増加した。また、総合社会教育文化施設のサービス向上を図るため、利用客へのサービスに支障がないよう適切な対応を図った。

○指定管理施設

管理施設等	指定管理者	指定期間
・総合社会教育文化施設 ・花祭会館、民芸館、博物館の 展示品等	公益社団法人東栄町 シルバー人材センター	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで

○指定管理料の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理料	16,762千円	19,516千円	21,330千円

単位：千円

グリーンハウスの管理運営

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：144

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	6,438	6,397			4,434	1,963
6 項 総合社会教育文化施設費						
2 目 グリーンハウス費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

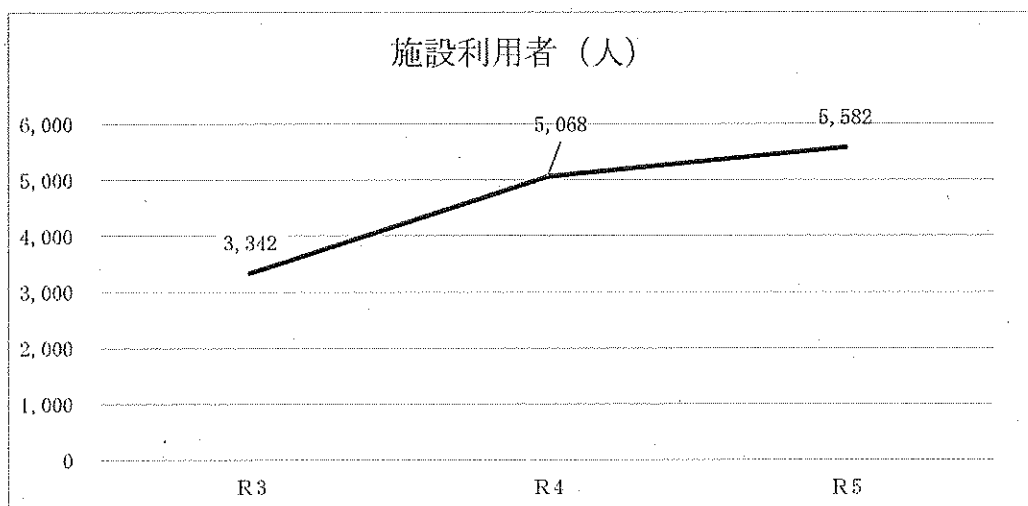
グリーンハウスの管理運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託する。

[実績・成果]

○グリーンハウスの利用状況推移

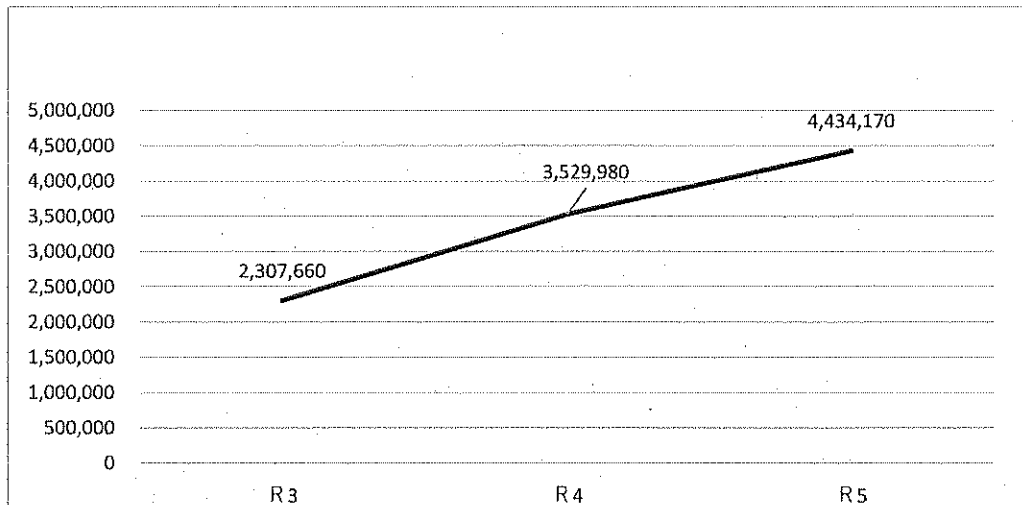
区 分	延べ利用者	うち宿泊者	使用料
令和3年度	3,342人	1,476人	2,307,660円
令和4年度	5,068人	2,239人	3,529,980円
令和5年度	5,582人	3,022人	4,434,170円

○施設利用者の推移



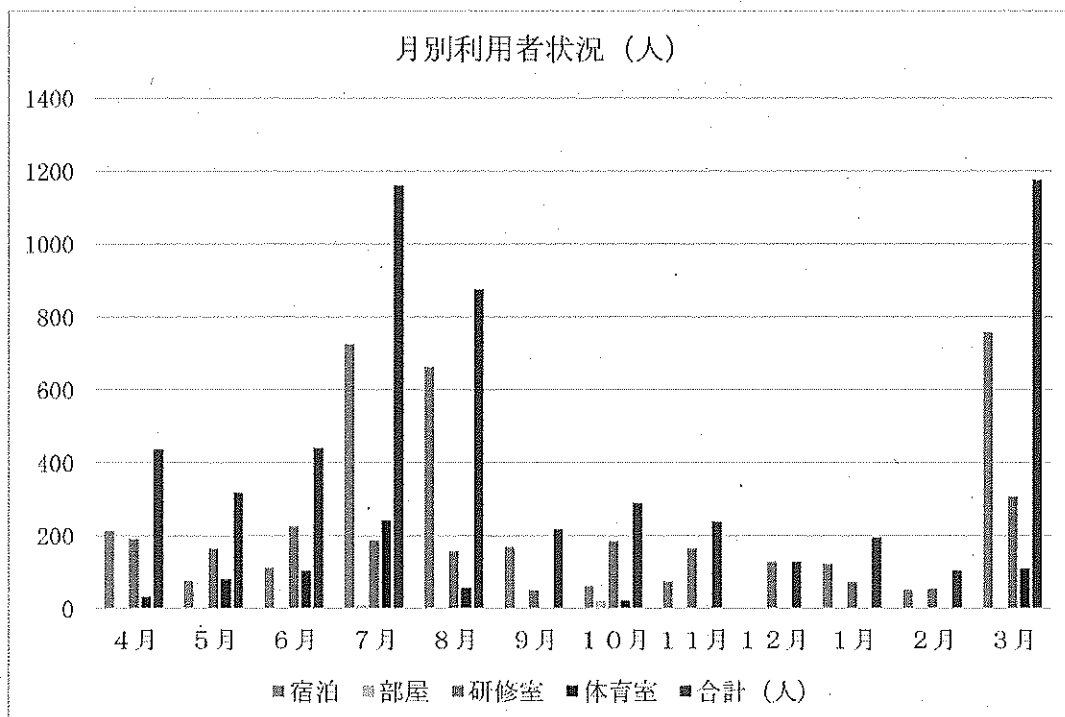
[実績・成果]

○施設使用料の推移



○グリーンハウス月別利用者数(令和5年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宿泊	213	75	112	725	662	169	61	74		122	51	758
部屋				8			21					
研修室	191	164	225	186	158	49	185	165	128	72	54	308
体育室	32	80	104	242	56		22					110
合計 (人)	436	319	441	1161	876	218	289	239	128	194	105	1176



単位：千円

博物館及び民芸館の管理運営

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：144～146

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	50	32			32	
6 項 総合社会教育文化施設費						
3 目 博物館及び民芸館費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

[概要]

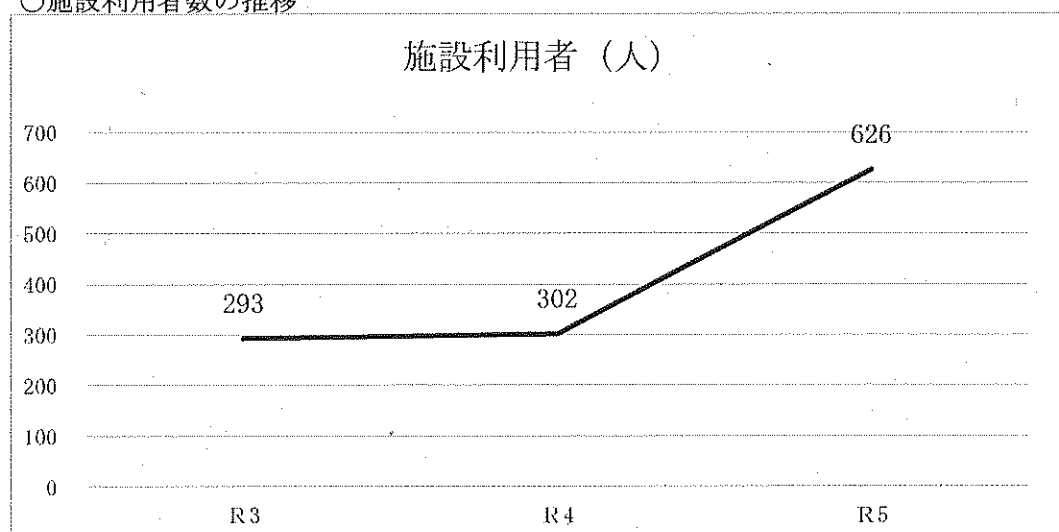
博物館及び民芸館の管理運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託する。

[実績・成果]

○博物館及び民芸館の利用状況の推移

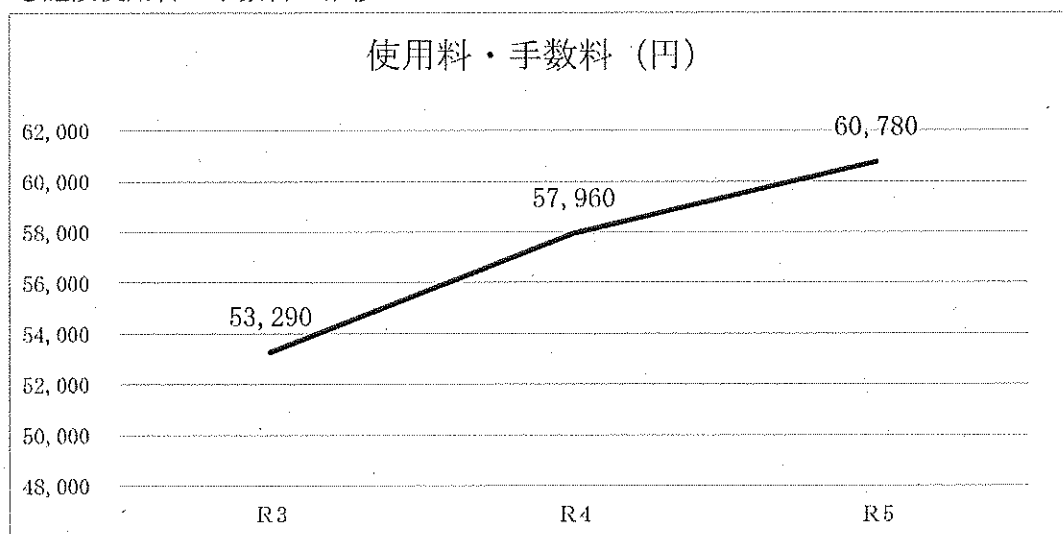
区 分	会場使用		見学入館	
	利用者	使用料	利用者	手数料
令和3年度	153人	9,950円	140人	43,340円
令和4年度	131人	8,020円	171人	49,940円
令和5年度	298人	12,160円	328人	48,620円

○施設利用者数の推移



[実績・成果]

○施設使用料・手数料の推移



単位：千円

花祭会館の管理運営

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：146

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	1,967	1,796			464	1,332
6 項 総合社会教育文化施設費						
4 目 花祭会館費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

[概要]

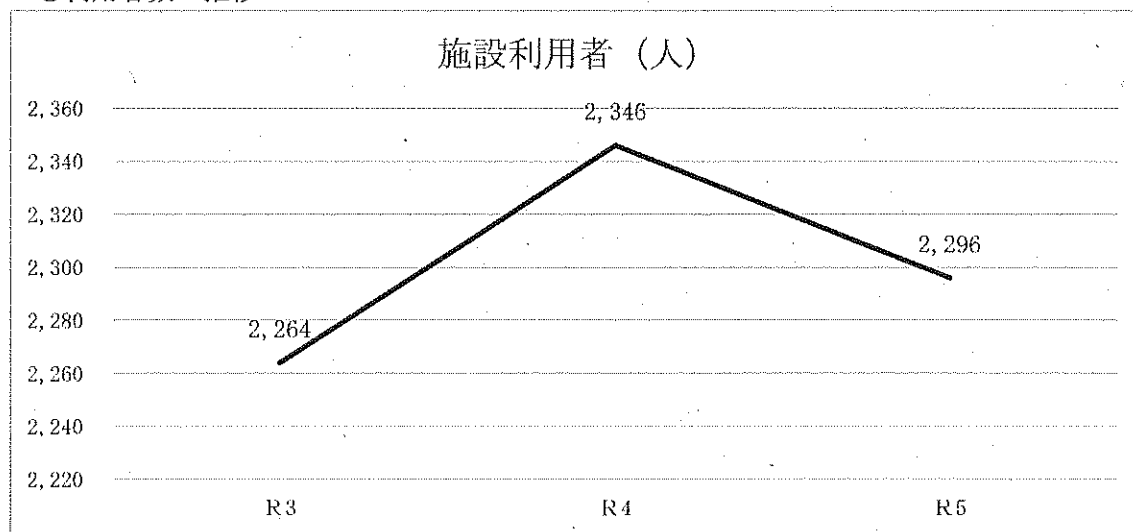
花祭会館の管理運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託する。

[実績・成果]

○花祭会館の利用状況の推移

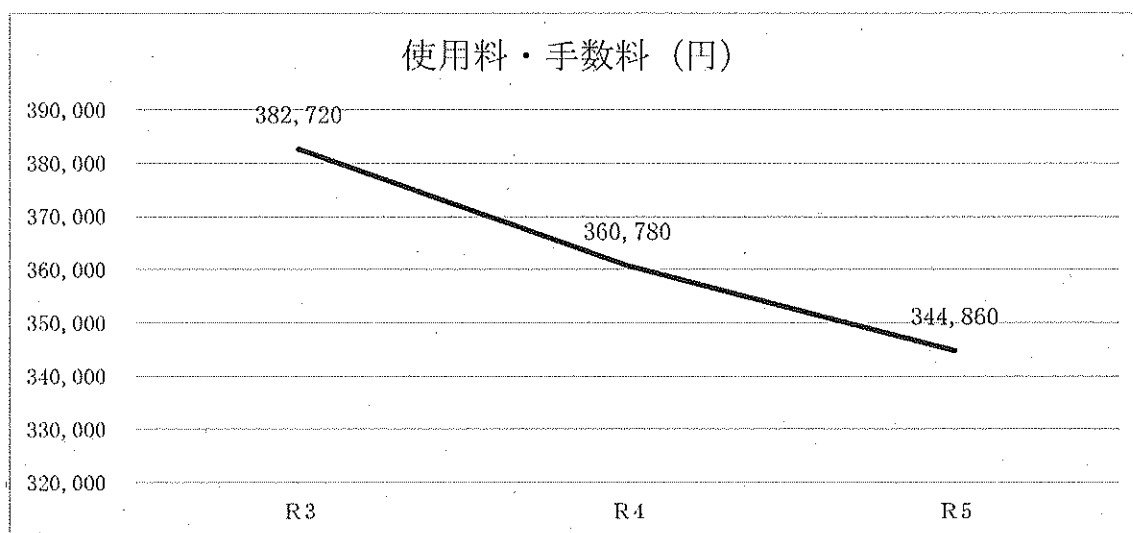
区 分	会場使用		見学入館	
	利用者	使用料	利用者	手数料
令和3年度	1,327人	113,060円	937人	269,660円
令和4年度	1,658人	147,830円	688人	212,950円
令和5年度	1,457人	164,350円	839人	180,510円

○利用者数の推移



[実績・成果]

○使用料・手数料の推移



単位：千円

体育施設の管理運営

担当課係：教育課生涯学習係

決算書：146

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	3,598	3,568			1,084	2,484
6 項 総合社会教育文化施設費						
5 目 体育施設費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

[概要]

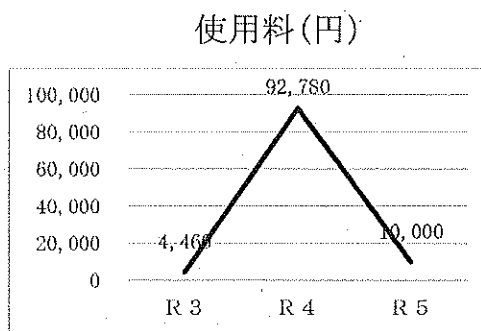
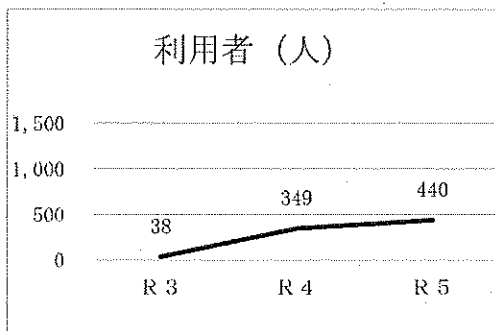
体育施設の管理運営を、公益社団法人東栄町シルバー人材センターに指定管理者制度で委託する。

[実績・成果]

○体育施設の利用状況推移

テニスコート

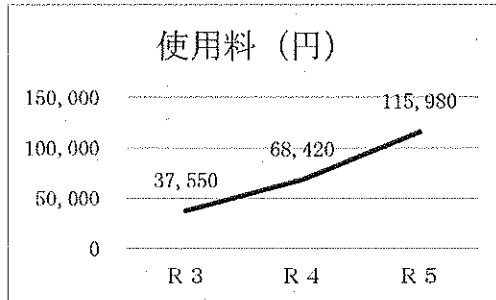
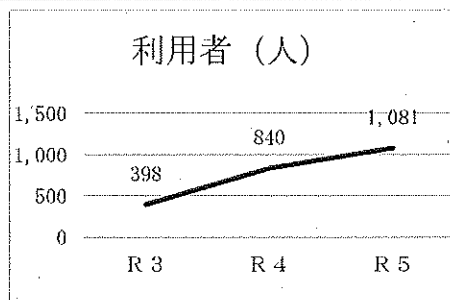
区 分	テニスコート	
	利用者	使用料
令和3年度	38人	4,460円
令和4年度	349人	92,780円
令和5年度	440人	10,000円



[実績・成果]

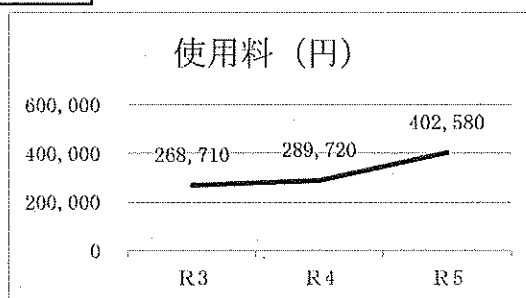
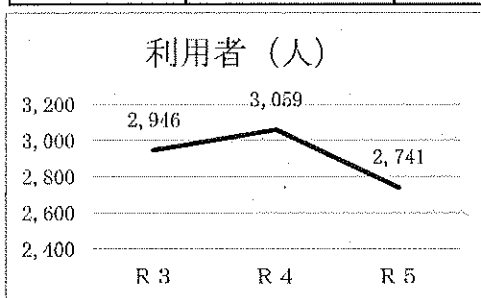
弓道場

区 分	弓道場	
	利用者	使用料
令和3年度	398人	37,550円
令和4年度	840人	68,420円
令和5年度	1,081人	115,980円



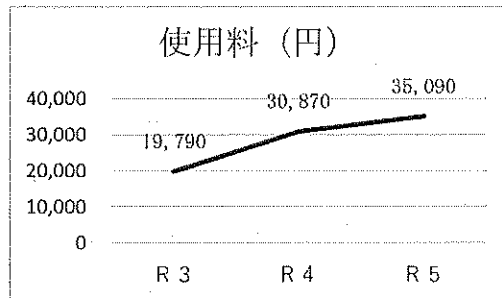
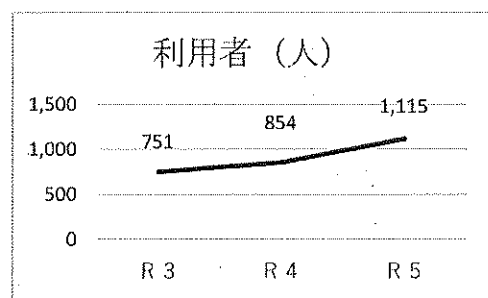
B & G 体育館

区 分	B & G 体育館	
	利用者	使用料
令和3年度	2,946人	268,710円
令和4年度	3,059人	289,720円
令和5年度	2,741人	402,580円



B & G プール

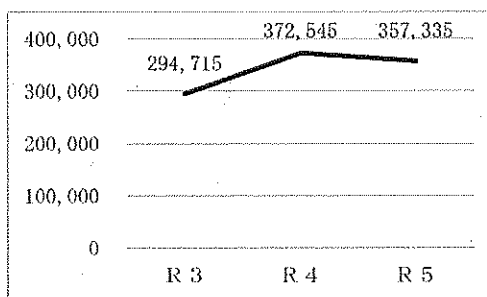
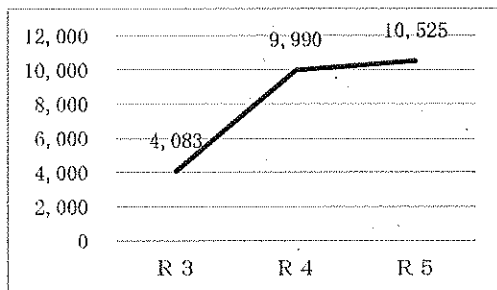
区 分	B & G プール	
	利用者	使用料
令和3年度	751人	19,790円
令和4年度	854人	30,870円
令和5年度	1,115人	35,090円



[実績・成果]

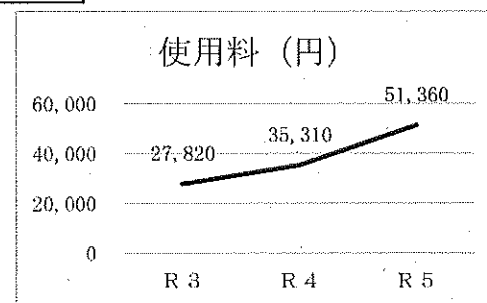
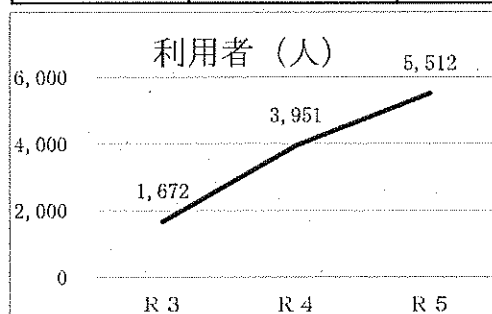
東栄ドーム

区 分	東栄ドーム	
	利用者	使用料
令和3年度	4,083人	294,715円
令和4年度	9,990人	372,545円
令和5年度	10,525人	357,335円



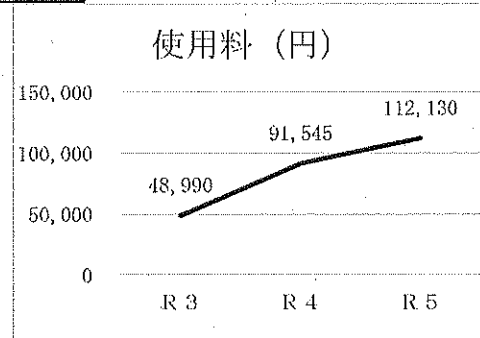
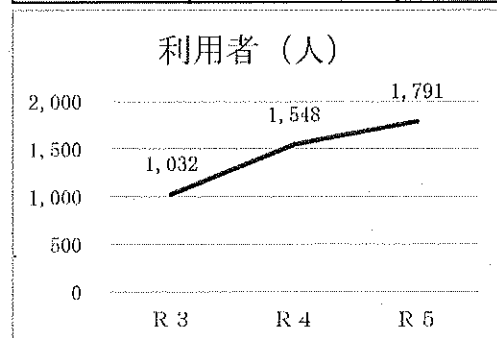
陸上競技場

区 分	陸上競技場	
	利用者	使用料
令和3年度	1,672人	27,820円
令和4年度	3,951人	35,310円
令和5年度	5,512人	51,360円



野球場

区 分	野球場	
	利用者	使用料
令和3年度	1,032人	48,990円
令和4年度	1,548人	91,545円
令和5年度	1,791人	112,130円



単位：千円

森林体験交流施設の運営

担当課係：教育課生涯学習係 決算書：146～148

一般会計	最終予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9 款 教育費	23,568	23,443			4,676	18,767
7 項 森林体験交流施設費						
1 目 森林体験交流施設費						

総合計画

基本方針 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

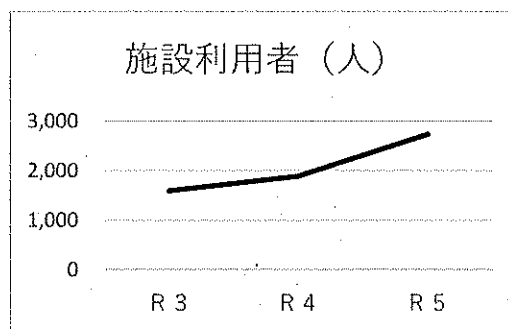
[概要]

森林体験交流施設（スターフォーレスト御園）の維持管理を行い、「星空の聖地奥三河」のシンボルにふさわしい魅力的な施設として合理的に運営を行うことで、利用促進を図る。

[実績・成果]

○森林体験交流センターの利用状況推移

区分	延べ利用者	うち宿泊者
令和3年度	1,596人	709人
令和4年度	1,895人	912人
令和5年度	2,732人	1,306人



○利用の内訳

区分		使用料		手数料		雑入
		センター	バンガロー	プラネタリアム	観望会	
利用者	令和3年度	231人	481人	571人	424人	
	令和4年度	266人	641人	650人	362人	
	令和5年度	382人	895人	1,024人	552人	
収入	令和3年度	683,320円	1,607,280円	303,810円		81,889円
	令和4年度	811,150円	2,001,700円	322,680円		123,969円
	令和5年度	1,176,780円	2,830,080円	467,080円		202,824円

利用者の主な増加要因は、新型コロナウイルス感染症による学校の部活動の自粛の緩和によるものであり、夏休み期間の利用増加が特に顕著だった。

教育課

単位:千円

事業名	実施場所	事業内容	事業費	財 源 内 訳			
				国 支 出	県 金	地 方 債	そ の 他 一般財源
東栄小学校床修繕工事	本郷	経年劣化等に伴い摩耗しており安心安全な学習環境を維持するための修繕	2,035				2,035
東栄中学校エレベーター修繕工事	本郷	東栄中学校の給食用運搬リフトが制御盤の老朽化で故障による修繕	1,826				1,826
東栄中学校自動火災報知機受信機取替工事	本郷	東栄中学校の自動火災報知設備受信機等が老朽化で故障による取り替え	1,892				1,892
東栄小中学校長寿命化計画策定業務	本郷	修繕や更新等のトータルコスト縮減と予算平準化を行うため施設長寿命化計画を策定	4,710		1,000		3,710
グリーンハウス照明器具LED化工事	本郷	宿泊施設の電気照明を全てLED照明に取替	2,980				2,980
グリーンハウス食堂空調設備設置工事	本郷	食堂の空調設備更新	2,723				2,723
花祭会館高圧受電設備部材取替工事	本郷	高圧受電部材の取替	1,348				1,348
体育施設高圧受電設備部材取替工事	本郷	高圧受電部材の取替	1,337				1,337
東栄町森林体験交流センタープラネタリウム室エアコン取替工事	御園	森林体験交流センターのプラネタリウムエアコンの取替	2,639				2,639
合 計			21,490		1,000		20,490